

物価高騰 & 新型コロナから

暮らしを守る各種支援

物価高騰などの影響を受けている

市民・事業者を支援します

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

①令和4年度の住民税非課税世帯や、②今年1月以降に家計急変のあった世帯に、1世帯当たり5万円を給付します。来
1月31日(消印有効)までに、①の世帯は今月上旬に送付す
る確認書の返送、②の世帯は申請が必要です。

問い合わせ 同給付金専用コールセンター ☎ 808・2680



市ホームページ

子育て世帯応援特別給付金

食費の物価高騰などに直面する子育て世帯を支援するため、平成16年
4月2日～来年3月31日に生まれた、9月30日時点で本市に住む養育者
の子どもなどに1人当たり1万円を給付します。

支給方法：児童手当受給世帯などは振込口座に12月下旬(予定)に直接
振り込むため申請不要。対象の子どもが高校生のみの世
帯、公務員や児童手当の所得上限限度額を超えている世
帯などは申請が必要(12月上旬受け付け開始)

問い合わせ 同給付金専用コールセンター ☎ 805・4685



市ホームページ

レシートを活用したプレミアム還元事業

指定期間(10月1日～12月28日)の市内店舗での買い物などの消費に対
し、1世帯当たり3千円相当のギフト券や電子ポイントを還元します。

申込期限：12月28日(消印有効)

申込方法：申込台紙(先月末に送付済み)に1万円分以上
のレシートを貼り、郵送かオンラインで申し込み

問い合わせ 同事業専用コールセンター ☎ 248・8877



市ホームページ

省エネルギー家電製品の購入を支援します

光熱費の負担軽減のため、省エネルギー性能の高い家電
製品の購入(5万円以上)に対し、1世帯当たり1万円を助
成します。

対象製品：今月以降に購入した、省エネ基準達成率を満たすエアコン・
テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・電気便座と、LED照明器具

申請期限：来年2月28日(消印有効) ※先着順

申請要件など詳しくは市HPが環境政策課 ☎ 216・1296

FAX 216・1292



市ホームページ



省エネラベル

民間バス・タクシー事業者への維持支援金

新型コロナの影響や物価高騰などに伴い、深刻な打撃を受けている
①民間路線バス事業者、②民間貸切バス事業者、③タクシー事業者へ
維持支援金を交付します。

申請期限：12月28日(消印有効)

問い合わせ ①交通政策課 ☎ 216・1113 FAX 216・1108

②観光プロモーション課 ☎ 216・1510 FAX 216・1320

生産性向上設備の導入を支援します

本市に事業所がある中小企業などが行う、生産性向上のための先端
設備などの導入に対し助成します(上限200万円)。

対象経費・補助額：本市の認定を受けた先端設備等導入計画に記載
され、工業会証明書の発行がある先端設備等に関する導入経費の3
分の1以内

申請期限：来年1月31日(消印有効) ※先着順

問い合わせ 産業支援課 ☎ 216・1322 FAX 216・1303

新型コロナを防ぐために

オミクロン株対応ワクチンの接種(3～5回目)を進めています

前回の接種からの間隔が、5カ月から3カ月に変更されました。

接種券の発送

前回接種日	接種券発送日
7月28日～8月10日	11月1日(火)
8月11日～31日	11月9日(水)
9月1日～7日	11月16日(水)



希望する人は早めのワクチン接種をお願いします

国による新型コロナワクチン接種(特例臨時接種)は、来年3月31日
までとされています。接種を希望する人は、接種間隔を確認の上、早
めの接種をご検討ください。

1・2回目未接種の人(1～2回目の接種間隔は3週間)

年内に2回目接種(従来株ワクチン)を終えると、来年3月31日まで
にオミクロン株対応ワクチンを接種できます。

生後6カ月～4歳の乳幼児

来年1月13日までに1回目接種を終えると、3月31日までに計3回の
接種を受けられます(接種には少なくとも11週必要です)。

予約方法など詳しくは、市新型コロナワクチンコール
センター ☎ 833・9567 か接種券に同封のチラシ、市HP
をご確認ください。



市ホームページ

新型コロナウイルス感染症に関する相談

発熱などの症状があるときは、迷わずかかりつけ
医療機関へ連絡を。受診・相談先に迷うときは、
市HPが受診・相談センター ☎ 216・1517へ

受付時間：8時30分～17時15分

※右記以外の時間の相談は、米盛病院 ☎ 080・8742・
3026へ

受診相談以外は、コロナ相談かごしま ☎ 833・3221
FAX 225・0672へ

新型コロナと診断されたときの療養の流れが変わりました。
詳しくは市HPをご覧ください



市ホームページ

市長からのメッセージ

海の向こうに目を向けて



旅行シーズンを迎え、今年の秋は久しぶりに外国人の方
が観光する姿を街中で見かけるようになりました。国際的
な人の往来もようやく戻ってきたことを実感します。
海外からの観光客の皆さんを見かける度に、ぜひ、鹿児
島の魅力をじっくりと堪能してもらいたいと思います。豊
かな自然に恵まれ都市機能の集積する本市は、桜島と錦江
湾の雄大な景観、日本一に輝く黒毛和牛や黒豚をはじめ、
新鮮で多彩な食材と焼酎などが織りなす個性あふれる食文
化といった、世界を惹きつけ、もてなす力があります。
人口減少の進行に伴い、国内ではモノを売る人も減って
いきます。また、アフターコロナの世界では、人・モノ・
情報の国際的な移動がますます加速化しています。これか
らは、海外の人々のニーズを捉えながら、海外から鹿児島
の様々なモノを買っていただき、また、それをきっかけに、
多くの方に本市を訪れていただくことがさらに重要になる
と考えています。

若い世代の皆さんには、ぜひ、国際的な視野を養い、そ
して、鹿児島島の魅力を海外に打ち出していく人材になっ
ていただきたいと思えます。海外へ出かけたり、外国の方々
との接点を持ったりする経験はその実現につながります。
本市も皆さんを応援できる取り組みを進めてまいります。

鹿児島市長 下鶴隆央